

フラッシュバルブ

商品・部品特定のための「現場撮影📷」・「採寸📏」ポイント
 ※手ブレやピンボケのないように撮影してください。

STEP 1 撮影・計測ポイント

フラッシュバルブの全景を撮影する際に、下記のポイントを踏まえて、撮影いただくと特定できる可能性が高くなります。ボックスに収めたタイプも概ねポイントは同じです。

チャッキ部とフラッシュバルブ本体の間隔を計測。
 _____ mm 📏

チャッキ部の全体的な形状を撮影。📷

バキュームブレイカーの全体的な形状を撮影。📷

給水管が床給水か壁給水かをわかるように撮影。📷

フラッシュバルブ本体上面の形状とハンドル上部のメーカー名刻印を撮影。📷

ハンドル部
 ハンドルの形状を撮影。📷

洗浄管方向
 洗浄管が床、壁、直接便器に差し込まれているかを撮影。📷

STEP 2 自動洗浄システムの撮影ポイント

上記撮影ポイントの他にも下記の部分を撮影してください。

センサー部も撮影してください。



電磁弁、アダプターの形状を撮影してください。



便器を含め全交換になる場合はトイレ全体を撮影していただく必要があります。

STEP 3 故障部品 詳細情報

※下記のように、故障部位を接写し、故障部品を丸で囲んでください。

事例：チャッキ部の場合



事例：フラッシュバルブ本体の場合

